

目黒区実施計画(30~34年度)改定素案の主な事業

子育て支援

141億円

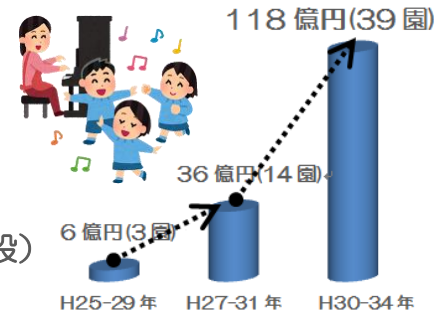
目黒区の待機児童数は、617人(全国3番目の多さ)となっています。現行実施計画では、私立認可保育所の整備事業費を36億円(14か所新設)計上しましたが、改定実施計画では、118億円(39か所新設、全体事業費の3割)の事業費を計上し、待機児童解消に取り組みます。

私立認可保育所の整備 定員2,914人分(39か所新設)

区立上目黒・東山・鷹番保育園の建替え・民営化

児童館の整備 南部地区及び西部地区に2か所新設

学童保育クラブの整備 定員210人分(5か所新設)



★私立認可保育所整備費★

NEW

NEW

高齢者・障害者・障害児の福祉の充実

45億円

「第四中学校跡地」「旧第六中学校跡地」「目黒三丁目国有地」を活用し、特別養護老人ホームや身体障害者施設等の施設を整備することで、高齢者や障害者が地域で自立し、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう支援します。

医療的ケアが必要な児童等への支援

NEW

⇒児童発達支援事業(未就学児)

⇒新設

⇒放課後等デイサービス(就学児)

医療的ケアが必要な児童とは・・・

たんの吸引や経管栄養、人工呼吸器の使用など、日常生活を営むために医療的ケアが必要な障害児をいいます。

第四中学校跡地

民間特別養護老人ホーム
(定員144名)

民間身体障害者入所・
通所施設等

旧第六中学校跡地

民間特別養護老人ホーム
(定員96名)

目黒三丁目国有地

民間特別養護老人ホーム
(定員106名)

区立特別養護老人ホーム中目黒をリニューアル

特別養護老人ホームの整備	定員346人分 (うちショートステイ46名)	3か所新設
(看護)小規模多機能型居宅介護	定員145人分	5か所新設
都市型軽費老人ホーム	定員20人分	1か所新設
認知症対応型通所介護	定員36人分	3か所新設
認知症高齢者グループホーム	定員81人分	3ユニット新設
障害者入所施設	定員20人分	1か所新設
障害者通所施設 (うち入所者18名を含む)	定員40人分	1か所新設

学校教育の振興

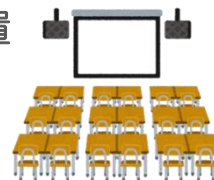
17億円

子どもたちと教職員の生き生きとした学校生活や教育活動を支えるために、快適な学校環境を整える取組を推進します。

NEW

小中学校普通教室に電子黒板機能付きプロジェクターを設置

動画や実演による視覚にうったえた授業ができ、学習への関心を高めることで、「楽しい」授業の展開を目指します。



NEW

学校トイレの環境改善

洋式化だけでなく、臭気対策のための排水管・汚水管改修も行います。



文化・スポーツ施設の改修

32億円

子どもから高齢者までだれもが参加できる活動の場、スポーツ・レクリエーションの機会や優れた芸術文化に接することができる機会を提供していきます。

NEW

中央体育館 大規模改修

中央体育館を東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会までにリニューアルします。



めぐろパーシモンホール 音響設備等改修

天井非構造部材落下防止工事 ※事業費は安全・安心なまちの実現に含む。

その他施設の改修

平成 29 年 6 月に策定した「区有施設見直し計画」の考え方と整合を取りつつ、財政見通しも踏まえ、真に緊急性の高い事業を厳選し実施します。

改修工事

■区立特別養護老人ホーム中目黒 改修

■駒場公園(旧前田家本邸) 文化財保存・修復整備

方針決定後に対応策を実施

■清掃事務所 改修方針検討

■学校施設 長寿命化対策 **NEW**

■第七・第八・第九・第十一中学校 適正規模・適正配置の推進

安全・安心なまちの実現

60億円

「区政に対する意識調査(平成 29 年 3 月)」において、優先的に取り組むべきだと思う施策をみると、「安全で安心なまちの実現」が最も高くなっています。災害に強い街づくりを推進するために、街全体の面的整備や防災機能の確保・強化を総合的に進めていく必要があります。

燃えないまち・燃え広がらないまちへの取組

木造住宅密集地域の不燃領域率	(28 年度実績)	(32 年度)
目黒本町五丁目地区	60.8%	⇒ 70%を目指す
原町一丁目・洗足一丁目地区	57.9%	
目黒本町六丁目・原町地区	52.4%	

「木密地域不燃化10年プロジェクト」等による、道路・公園の整備、老朽建築物の建替え促進、共同建替え等の推進により、防災性と住環境の向上を図ります。

不燃領域率とは・・・

市街地の「燃えにくさ」を表す指標で、70%を超えると市街地の焼失率がほぼゼロになる。

耐震化促進

住宅の耐震化率 82.4% (28 年度推定値) ⇒ 95%を目指す

電線類の地中化 (東邦大学大橋病院前～警視庁第三方面本部前 320m 等)

治水対策 (歩道の透水性舗装、浸透ますの整備、土のう保管箱の整備 等)

地域防災力の向上

NEW

⇒固定系防災行政無線を平成32年度までにデジタル化完了

⇒街頭消火器 100本増設

⇒道路や公園に下水道直結型マンホールトイレを33か所整備

街づくりの支援

52億円

地域の特性に応じた適切な土地利用が行われ、良好な住環境の保全・形成が進み、より安全で快適に住み続けられる街づくりを推進します。各駅周辺地区の街づくりを支援していきます。

自由が丘駅

⇒市街地再開発事業(自由が丘一丁目)

⇒補助127号線沿道周辺まちづくり

中目黒駅

山手通り拡幅
東京音楽大学開校
知的裁判所の移転

⇒ まちの
変化への
対応

目黒駅

学芸大学駅

祐天寺駅

西小山駅

道路・交通体系・公園等の整備

16億円

都市交通の安全性・機能性が向上し、歩行者・自転車環境が改善され、生活者にとってより安全で快適な道路・交通体系の整備を進めていきます。

■道路・橋りょうの長寿命化（橋りょう 設計 11 橋、工事 5 橋、点検 38 橋）

■総合的な自転車対策（駅周辺 11 区域で走行環境の整備）

■歩道のバリアフリー化（段差解消 60 か所、歩道舗装の改良）

■通学路・裏通りの交通安全対策（5 区域でカラー舗装、ストップマーク 等）

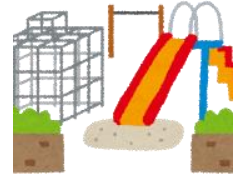
■自由が丘駅ホームドア整備（平成 30 年度までに完了予定）

■公園等の改良

⇒公園、児童遊園の改良

⇒遊具、トイレ、園内灯の長寿命化対策

⇒一部の公園へ防犯カメラ設置



NEW

自然環境の保全・創出

4億円

目黒区は、「みどり豊かな良好な住宅地」というイメージが広く定着しています。自然環境の保全や環境への負荷の少ない地域社会の形成に向けて支援していきます。

めぐろ桜再生プロジェクト（樹木調査・桜の保全）



自然環境の保全とみどりの創出（樹木等の保全・生物調査・屋上緑化 等）

目黒川沿川道路整備（640m）

ヒートアイランド対策の道路整備（遮熱性舗装 2,080 m²）



太陽光発電システム等の設置費助成

事業費総額 368億円

目黒区実施計画改定素案に対するご意見をお寄せください

ご意見提出期間：平成 29 年 10 月 15 日(日)～11 月 20 日(月)（必着）

郵送・FAX・Eメールで政策企画課へ送付してください。詳しくは、めぐろ区報（10月15日号）目黒区ホームページ（<http://www.city.meguro.tokyo.jp/>）でもお知らせしています。

【問い合わせ先】目黒区 企画経営部 政策企画課 TEL:03-5722-9106 FAX:03-5722-6134